

教科(科目)	外国語 (英語Ⅱ)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必修
単位数	食物科 福祉科 3単位	教科書	VISTA English Series II Step one (三省堂)
		副教材	
科目の目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高校における基本的な学習内容を整理して理解させる。 ・言語の使用場面の体験をさせながら、実践的コミュニケーション能力の育成を図る。 ・英語学習の楽しさに気付かせるとともに、予習・復習を含め学習方法の定着を図る。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	Lesson 1 Whistle Communication	<ul style="list-style-type: none"> ・カナリア諸島で使われている指笛コミュニケーションについて読む ・I know where ~ ・I wonder if ~ ・比較級 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・ドリル 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・内容を正しく理解する ・間接疑問文の構造が理解できる ・比較表現を使って身近なことについて表現できる
5	中間考査 (内容把握, 語い・語法, 既習文法事項を使った条件作文等)			
6	Lesson 2 Cathy Freeman	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック金メダリスト・フリーマンの民族への誇りと、民族を越えた意識について読みとる ・help + 人 + do ・関係代名詞 what 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・Qs & As ・英作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・内容を正しく理解する ・関係代名詞 what の意味が理解でき、簡単な英文が書ける ・help + 人 + do を使って身近なことについて表現できる
	Lesson 3 The Evil Eye	<ul style="list-style-type: none"> ・evil eye という外国の言い伝えと、日本の茶柱の言い伝えの、おもしろい共通点について理解する ・tell + 人 + to do ・be happy to do 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・Qs & As ・英作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・段落ごとに要点をとらえる ・tell + 人 + to do を使って身近なことについて表現できる ・原因・理由を表す to 不定詞の意味を理解し、身近なことについて表現できる
7	期末考査 (内容把握, 語い・語法, 既習文法事項を使った条件作文等)			
8	夏季休業	・第2回実力テスト(9月実施)に向けての家庭学習		
9	Lesson 4 India	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページからインドのことばや生活、産業などの様子を知る ・部分否定 / no matter how ~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・Qs & As ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・内容を正しく読みとる ・部分否定の意味を理解し、身近なことについて表現できる
10	中間考査 (内容把握, 語い・語法, 既習文法事項を使った条件作文等)			
11	Lesson 5 Guernica: A Symbol of Peace	<ul style="list-style-type: none"> ・ピカソは『ゲルニカ』を描くことで何を伝えようとしたのかを読みとる ・must have done ・Why do you think ~? ・It takes + 人 + 時間 + to do 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・Qs & As 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・内容を正しく読みとる ・それぞれの表現を利用し、身近なことについて表現できる
	12 期末考査 (内容把握, 語い・語法, 既習文法事項を使った条件作文等)			
1	Lesson 6 Adobe Houses	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのサンタフェで守られている伝統的な建築様式について知る ・現在完了進行形 ・can be done ・make it hard to do ~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・Qs & As 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・内容を速く正しく読みとる
	学年末考査 (内容把握, 語い・語法, 既習文法事項を使った条件作文等)			

評価の観点及び趣旨

- ① 関心・意欲・態度
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
- ② 表現の能力
日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。
- ③ 理解の能力
日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。
- ④ 知識・理解
日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

「英語Ⅱ」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20 %程度	② 表現の能力	30 %程度
③ 理解の能力	30 %程度	④ 知識・理解	20 %程度